



日販グループホールディングス

# 2024年度 中間決算報告

(2024年4月～9月)

---

日販グループホールディングス株式会社 2024年11月22日

## 目次

1. 日販グループ事業体制
2. 連結経営成績
3. 事業別成績
4. 計算書類
5. 補足資料

# 1. 日販グループ事業体制

# 日販グループ事業体制図

<日販グループ経営理念>

人と文化のつながりを大切にして、すべての人の心に豊かさを届ける。

日販グループホールディングス株式会社

取次事業

小売事業

海外事業

雑貨事業

コンテンツ事業

エンタメ事業

IT事業

不動産事業

その他の事業

シェアードサービス事業  
ブックホテル事業  
グリーン事業

## 2. 連結経営成績

(2024年4月～9月)

# エグゼクティブ・サマリー

## 連結 経営成績

### 減収・増益 黒字決算

売上高	： 1,855億円（前年比90.5%）
営業利益	： ▲0.2億円（前年差+13.6億円）
経常利益	： 2.4億円（前年差+15.1億円）
親会社株主に帰属する中間純利益	： 1億円（前年差+12.5億円）

## 事業別 ハイライト

### 前年赤字から黒字に転換。経常利益で15.1億円の増益。 営業利益ベースで全事業増益。

- 取次事業は、159億円の大幅減収も、利益改善し経常利益は11.5億円の赤字幅縮小。
- 小売事業は、売上構成比が高いBOOK等の大幅減収が響き赤字も、2.3億円の赤字幅縮小。
- 海外・エンタメ事業は、前期中間に続き、過去最高売上高・経常利益を達成。
- 雑貨事業は、直営・ECの売上が好調で増収となる一方、為替によるデリバティブ評価損の影響で経常利益では減益。
- コンテンツ事業は増収増益、不動産事業に次ぐ利益創出でグループに貢献。
- IT事業はグループ外事業の拡大などにより増収増益。

## 連結経営成績

(単位：百万円・%)

	2024年度	2023年度	前年差	前年比
売上高	185,508	204,899	▲19,391	90.5
売上総利益	31,572	27,434	4,138	115.1
販売費及び 一般管理費	31,596	28,822	2,774	109.6
営業利益	▲24	▲1,388	1,364	—
経常利益	248	▲1,267	1,515	—
親会社株主に帰属する 中間純利益	103	▲1,150	1,253	—

# 3. 事業別成績

(2024年4月～9月)

## 事業別成績

(単位：百万円・%)

	売上高			営業利益			経常利益		
	2024年度	2023年度	前年比	2024年度	2023年度	前年比	2024年度	2023年度	前年比
取次事業	165,725	181,655	91.2	▲1,058	▲2,055	—	▲797	▲1,951	—
小売事業	22,768	24,700	92.2	▲115	▲281	—	▲14	▲249	—
海外事業	3,969	3,555	111.6	145	143	101.4	147	138	106.5
雑貨事業	1,607	1,583	101.5	41	40	102.5	43	90	47.8
コンテンツ事業	1,859	1,713	108.5	283	253	111.9	286	254	112.6
エンタメ事業	903	742	121.7	32	20	160.0	32	20	160.0
IT事業	2,956	2,575	114.8	78	▲41	—	79	▲39	—
不動産事業	1,576	1,558	101.2	608	585	103.9	572	544	105.1
その他の事業	1,507	1,459	103.3	89	57	156.1	196	144	136.1
連結合計	185,508	204,899	90.5	▲24	▲1,388	—	248	▲1,267	—

## 取次事業

(単位：百万円・%)

	2024年度	2023年度	前年差	前年比
売上高	165,725	181,655	▲15,930	91.2
営業利益	▲1,058	▲2,055	997	—
経常利益	▲797	▲1,951	1,154	—

※日販決算の詳細は、別途リリースしている日販の決算資料をご参照ください。

- 取次事業は減収・赤字決算。▲7.9億円の経常損失となったが、前年から11.5億円の赤字幅縮小。
- 取次事業の売上の8割を占める日本出版販売は、取引書店の売上減少・閉店などにより、▲212億円の大幅減収も、販売費及び一般管理費を前年差▲11.6億円とコスト削減に取り組み、5.5億円の利益改善を果たした。
- カルチュア・エクスペリエンス（旧MPD）は2023年10月1日にCCCよりTSUTAYA FC事業を統合し再始動、統合効果もあり黒字で着地。

(単位：百万円・%)

	2024年度	2023年度	前年差	前年比
売上高	22,768	24,700	▲1,932	92.2
営業利益	▲115	▲281	166	—
経常利益	▲14	▲249	235	—

●小売事業は減収。

赤字決算も、2.3億円の赤字幅縮小。

●構成比の高いBOOKが市況の悪化や閉店により

▲12.6億円と大幅に減少し、全体で減収。

●駿河屋事業は、全体で売上が13.7億円（前年差

+6.1億円）と伸長。直営で2店舗の新規出店。

●2023年10月1日付で事業再編（会社合併）を実施。

経営基盤強化を図ると共に、本部機能の集約や

整理によるコスト削減を進め、大幅な利益改善。

# 海外事業

(単位：百万円・%)

	2024年度	2023年度	前年差	前年比
売上高	3,969	3,555	414	111.6
営業利益	145	143	2	101.4
経常利益	147	138	9	106.5

※国内企業の海外駐在員向けeコマース。書籍・雑誌・食品・雑貨・医薬品などが対象。  
 駐在員・ご家族の生活の質を向上させるESG施策として多くの企業様に採用いただいている。業界トップシェアを誇る。

●海外事業は増収増益。

中間決算で、過去最高売上高・経常利益を更新。

●CLUB JAPAN※事業が好調で、全体をけん引。

既存取引における扱い領域の拡大などにより前年比113.3%と増収に寄与。

11月にはSaveExpats社のオンライン医療相談も加わったトータル健康管理パッケージを提供開始。

●輸出事業では、Japan Expo出展など欧州を

中心に現地営業を強化、新たに10カ国で取引先を開拓。

(単位：百万円・%)

	2024年度	2023年度	前年差	前年比
売上高	1,607	1,583	24	101.5
営業利益	41	40	1	102.5
経常利益	43	90	▲47	47.8

※ファニチャー、ハウスウェア、ガーデンツール、キッチンツール等、生活にまつわるあらゆるDULTONアイテムを楽しめる住宅の販売や、リノベーションを提供する事業。2024年1月に親会社である(株)ダルトンへ、子会社のダルトンホーム・ディベロップメント(株)より事業譲渡。

- 雑貨事業は増収減益。
- 直営店は前年比114%、ECも前年比103%と伸長し、全体で増収となった。直営店は客数が前年比117%と増加し、13店舗中12店舗が増収。
- 更なる事業成長に向け人材投資を加速した中で、前年並みの営業利益を維持。ただし、為替によるデリバティブ評価損が発生したことで経常利益は減益。
- ダルトンホーム※では新たに新築8棟を完工し、リノベーション物件込みで累計22件が完工。5月より平屋プランがスタート。

# コンテンツ事業

(単位：百万円・%)

	2024年度	2023年度	前年差	前年比
売上高	1,859	1,713	146	108.5
営業利益	283	253	30	111.9
経常利益	286	254	32	112.6

●コンテンツ事業は増収増益。不動産事業に次ぐ利益を確保し、グループ成長をけん引。

●描き下ろし作品は、一般ジャンルの制作数が増え、前年比203%と大きく伸長し、増収に寄与。2023年11月にリリースした異世界ノベルのコミカライズレーベル「comic スピラ」が複数のヒット作品を輩出し、ジャンルの成長をけん引。

●2024年9月には、一般ジャンルから、ピュアなライトBL※を描くオリジナルコミックレーベル「be sugar (ビーシュガー)」を創刊。

# エンタメ事業

(単位：百万円・%)

	2024年度	2023年度	前年差	前年比
売上高	903	742	161	121.7
営業利益	32	20	12	160.0
経常利益	32	20	12	160.0

●エンタメ事業は増収増益。

中間決算で、過去最高売上高・経常利益を更新。

●検定事業では、昨年上半期19件開催のところ、

今期は21件の検定を開催し、4千万円の増収。

●イベント事業では、7件のイベントを開催し、

1.2億円の増収。特に文具女子博が業績を大きくけん引。毎年4月に開催している「文具女子博 in 大阪」は、3万人を動員し、前年比135%と売上を大きく伸長。

12月の横浜開催は過去最大規模を予定。

(単位：百万円・%)

	2024年度	2023年度	前年差	前年比
売上高	2,956	2,575	381	114.8
営業利益	78	▲41	119	—
経常利益	79	▲39	118	—

- IT事業は増収増益。
- グループ内の取次事業のDX案件の実施に加え、グループ外事業が前年比120%と伸び、増収。
- 出版社向けクラウド型販売管理システム  
「CONTEO（コンテオ）」は導入社数を拡大、出版業界外である全国銀行協会への導入も決定。
- 昨年上半期は「CONTEO」の費用計上が先行して経常赤字であったが、今期は黒字転換。

## 不動産事業

(単位：百万円・%)

	2024年度	2023年度	前年差	前年比
売上高	1,576	1,558	18	101.2
営業利益	608	585	23	103.9
経常利益	572	544	28	105.1

- 不動産事業は増収増益、堅調な利益創出でグループ経営を下支え。
- 新お茶の水ビルディング、堂島・名古屋・仙台の各オフィスビルいずれも満床で推移。
- 減価償却費の減少に加え、ビル管理委託費の抑制に努め、増益。

## その他の事業

(単位：百万円・%)

	2024年度	2023年度	前年差	前年比
売上高	1,507	1,459	48	103.3
営業利益	89	57	32	156.1
経常利益	196	144	52	136.1

- その他の事業は増収増益。グループでシェアードサービスを担う日販ビジネスパートナーズが、グループ管理コストの適正化を進めたことで増益。
- 日本緑化企画は、増収増益。基盤となるグリーンレンタル事業で前年比148%と大きく伸長。
- ASHIKARIが運営する「箱根本箱」は、増収増益。空調工事による休業期間が前年で終了し、稼働率が大幅向上し増収。高単価プランの導入やインバウンド客の増加で客単価も上昇している。

# 4. 計算書類

(2024年4月～9月)

## 連結計算書類（貸借対照表）

（単位：百万円）

資産の部				負債の部			
科目	2024年度	2023年度	前年差異	科目	2024年度	2023年度	前年差異
	金額	金額			金額	金額	
流動資産	152,544	170,996	▲18,452	流動負債	161,606	178,798	▲17,192
現金及び預金	24,459	30,403	▲5,944	支払手形及び買掛金	95,493	113,472	▲17,978
受取手形、売掛金及び契約資産	60,579	73,992	▲13,413	電子記録債務	7,142	7,592	▲450
有価証券	4,000	3,400	599	短期借入金	14,999	14,059	940
棚卸資産	31,924	31,484	440	未払法人税等	355	277	78
返品資産	25,574	26,861	▲1,286	返金負債	28,639	29,641	▲1,001
その他の流動資産	6,558	5,618	940	諸引当金	1,198	1,117	80
貸倒引当金	▲552	▲764	212	その他の流動負債	13,777	12,637	1,139
				固定負債	23,031	20,504	2,526
固定資産	85,926	85,454	472	長期借入金	1,707	1,943	▲236
有形固定資産	56,963	55,030	1,933	退職給付に係る負債	4,374	5,498	▲1,123
無形固定資産	3,941	2,443	1,498	その他の固定負債	16,949	13,062	3,886
投資その他の資産	25,131	28,147	▲3,016	負債合計	184,638	199,303	▲14,665
貸倒引当金	▲109	▲166	57				
				純資産の部			
				株主資本	34,247	38,001	▲3,753
				資本金	3,000	3,000	—
				利益剰余金	33,128	36,874	▲3,746
				自己株式	▲1,880	▲1,873	▲7
				その他包括利益累計額	14,118	14,160	▲42
				非支配株主持分	5,466	4,986	480
				純資産合計	53,833	57,147	▲3,314
資産合計	238,471	256,451	▲17,980	負債及び純資産合計	238,471	256,451	▲17,980

# 連結計算書類（損益計算書）

（単位：百万円・％）

科目	2024年度		2023年度		前年比	前年差異
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高合計	185,508	100.0	204,899	100.0	90.5	▲19,390
売上	188,518		208,099		90.6	▲19,581
売上割戻	3,009		3,200		94.0	▲190
売上原価	153,935	83.0	177,465	86.6	86.7	▲23,529
売上総利益	31,572	17.0	27,434	13.4	115.1	4,138
販売費及び一般管理費	31,596	17.0	28,822	14.1	109.6	2,774
販売費	9,471		9,738		97.3	▲266
一般管理費	22,125		19,084		115.9	3,041
営業利益	▲24	▲0.0	▲1,388	▲0.7	—	1,363
営業外収益	638	0.3	317	0.2	201.4	321
受取利息	51		59		87.7	▲7
その他の収益	586		257		227.5	328
営業外費用	365	0.2	196	0.1	186.5	169
支払利息	87		40		215.8	47
その他の費用	277		155		178.9	122
経常利益	248	0.1	▲1,267	▲0.6	—	1,515
特別利益	408	0.2	12	0.0	—	395
特別損失	511	0.3	68	0.0	—	443
税金等調整前中間純利益	145	0.1	▲1,322	▲0.6	—	1,468
法人税、住民税及び事業税	440		251		174.9	188
法人税等調整額	▲487		▲374		—	▲112
中間純利益	193	0.1	▲1,199	▲0.6	—	1,392
非支配株主に帰属する中間純利益	90	0.0	▲48	▲0.0	—	138
親会社株主に帰属する中間純利益	103	0.1	▲1,150	▲0.6	—	1,253

# 5. 補足資料

# 連結子会社一覧（2024年9月30日時点）

事業	会社名
取次事業	日本出版販売株式会社
	カルチュア・エクスペリエンス株式会社
	株式会社MPDパートナーズ
	出版共同流通株式会社
	日販物流サービス株式会社
	中三エス・ティ株式会社
	株式会社B・Story
	株式会社NKメディアリテイリング
	株式会社ひらく
	株式会社学研ステイフル
小売事業	NIC株式会社
	NICリテールズ株式会社（子会社10社を含む）
	NICパートナーズ株式会社
	株式会社いまじん白揚
	株式会社駿河屋BASE

事業	会社名
海外事業	日販アイ・ピー・エス株式会社
雑貨事業	株式会社ダルトン
	ダルトンホーム・ディベロップメント株式会社
コンテンツ事業	株式会社ファンギルド
	株式会社FGパブリッシング
エンタメ事業	日販セグモ株式会社
IT事業	日販テクシード株式会社
	日販ビジネスパートナーズ株式会社
	株式会社ASHIKARI
その他の事業	日本緑化企画株式会社

連結子会社35社

## 連結主要経営指標の推移（中間）

(単位：百万円・人・社)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	242,861	246,399	219,813	204,899	185,508
営業利益	1,401	1,645	▲104	▲1,388	▲24
経常利益	1,484	1,969	15	▲1,267	248
親会社株主に帰属する 中間純利益	292	982	1,178	▲1,150	103
純資産額	56,338	59,002	59,919	57,147	53,833
総資産額	238,911	277,998	266,251	256,451	238,471
従業員数 (他 年平均臨時雇用者数)	2,654 (5,425)	2,648 (5,318)	2,470 (5,177)	2,410 (4,921)	2,653 (4,593)
連結対象子会社数	34	35	36	38	35

# 非財務情報開示

---

「日販グループ ESGレポート2024」を2024年7月に発行し、非財務情報を開示しています。

※ESGについての詳細は、[日販グループホールディングスホームページのESGページ](#)および

[「日販グループ ESGレポート2024」](#)をご参照ください。

